

# 伊賀市教育研究センター

NO.6

2025年10月 6日（月）

た よ

り



〒518-0814 伊賀市上友生785番地 TEL&FAX:0595(21)8839

URL:<http://www.iga.ed.jp/igaken> E-mail:[iga-ken@iga.ed.jp](mailto:iga-ken@iga.ed.jp)

## 環境整備作業できれいになりました！

市教育研究センター環境整備作業が、9月27日（土）午前中に約2時間実施されました。センター周辺の土手及び運動場・体育館周辺の草刈や清掃、側溝付近の草上げや体育館内の清掃など、職員だけではなかなか普段できないところの環境作業に汗を流していただきました。

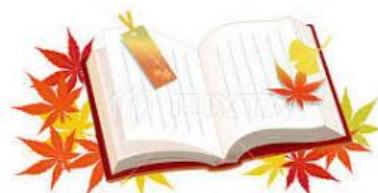


地元の友生地区住民自治協議会をはじめ、伊賀市PTA連合会、三教組伊賀名張支部、伊賀市青少年センター、上野同和教育研究協議会、伊賀市同和教育研究協議会、伊賀市教育委員会学校教育課、センター事務局、ふれあい教室、伊賀FCうりぼう、友生少年野球クラブの保護者と子どもたち、合わせて66名の方々にご協力をいただき、大変きれいにしていただきました。

当センターに会議や研修会でお越しになる方をより気持ちよくお迎えできるようになりました。作業にご参加をいただきました方々、本当にありがとうございました。

## 読書の秋～大人編～

情報化社会の進展は、便利な生活を提供する一方で、断片的な情報を受け取る、受け身の姿勢をもたらしやすいと言われます。わたしたち教職員は、自分でものを考える必要があるからこそ、読書が大切です。そして、読書を通して「教養、価値観、感性等」生涯を通して磨き、身に付けていくことができます。



ところで、大人は、1か月にどのくらい本を読んでいるのでしょうか。

令和5年度文化庁の「国語に関する世論調査」によれば、「読まない」が62.6%となっています。ちなみに過去の調査結果では「読まない」の割合が40%台後半でしたので、本を「読まない」人の割合が急速に増えていることがわかります。

読書量が減っている最大の理由は「情報機器に時間が取られるから」となっています。このことから読書の必要性は感じつつも、その時間をうまく作り出せていない状況がうかがわれます。

教育研究センターには、教職員の専門書等を多数揃えております。研修や会議の際にも、ぜひ書籍コーナーにもお立ち寄りいただき、本を手にする機会にしてください。